



施策・事務事業マネジメントシート【令和8年度】

1 施策の基本情報(Plan)

施策名		22 良好な市街地の形成
目的	対象	市民
	意図	便利で快適になる
施策の方向		都市計画の最上位計画である調布市都市計画マスタープランを基本として、適正な土地利用を推進するとともに、市民に身近な景観の価値の向上を図る景観まちづくりを推進し、利便性と快適性を兼ね備えた良好な市街地を形成します。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

施策の目的、方向に対する考察（PDCAサイクルにおけるCheck・Action）

・「調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」で示したまちづくりの方針や将来像の実現に向けて適正な土地利用の推進を図る。
 ・景観計画に基づく届出制度の運用を通じて、良好な景観形成に寄与することができた。また、景観計画改定に向けて、素案を作成した。引き続き、届出制度の運用と改定に向けた取組を進める。
 ・「調布駅中心市街地公共サイン整備計画（調布駅／第2期）」に基づき、令和7年度は案内サイン2基、誘導サイン3基、平成28年3月に策定した「調布市中心市街地公共サイン整備計画（布田駅・国領駅編）」に基づき、布田駅周辺に誘導サイン1基を設置し、利用者の利便性の向上に繋げることができた。また、令和8年3月には調布市公共サイン整備計画（京王多摩川駅）を策定した。今後も継続して計画に基づいた公共サイン整備に取り組む。

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値 (目標年度)			目標値	指標の推移	考察 (目標達成の要因、課題、目標達成に向けた今後の取組の方向等)
			(令和5年度)	(令和6年度)	(令和7年度)			
住みやすいと感じている市民の割合	%	93.8 令和4年度	94.7	94.4	95.6	95.0 令和8年度	◎	都市計画マスタープランで示したまちづくりの理念や将来像の実現に向けた取組が目に見える形で進んでいることが要因と考える。
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	%	81.9 令和4年度	81.7	83.6	85.4	90.0 令和8年度	○	・市民に市内の景観の魅力を発見、実感してもらえるよう、引き続き景観法の制度を活用し景観施策に取り組んでいく必要がある。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■22-1 適正な土地利用の推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
71	都市計画マスタープランの運用	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・都市計画マスタープランの運用による適正な土地利用の推進 ・立地適正化計画の運用（届出制度を活用した誘導） ・中心市街地における土地利用方針等の調査・検討 ・都市計画生産緑地地区及び特定生産緑地の指定・運用	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・都市計画マスタープランの運用による適正な土地利用の推進 ・立地適正化計画の運用（届出制度を活用した誘導） ・中心市街地における土地利用方針策定に向けた関係機関等との協議の実施 ・都市計画生産緑地地区及び特定生産緑地の指定・運用

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
中心市街地の回遊性向上に資する取組の検討	鉄道敷地や調布駅前広場の完成により、基盤整備が大きな節目を迎える中、今後は中心市街地の回遊性向上に向けた取組を進めていく ①旧甲州街道セットバックに関する実証実験・効果検証 ②交流軸を中心とした回遊性向上等を図るための土地利用方針の策定 ③その他回遊性向上に資する取組

■22-2 景観まちづくりの推進

No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
72	景観計画・景観条例の運用	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・景観計画に基づく届出制度の運用 ・景観学習の推進（景観まちづくり市民検討会・大学連携） ・景観計画の改定に向けた調査・検討	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・景観計画に基づく届出制度の運用 ・景観学習の推進（景観まちづくり市民検討会・大学連携） ・景観計画の改定（令和8年度）
No	基本計画事業名	令和7年度取組実績(Check)	令和7年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
73	公共サイン計画の検討・運用	☒ 計画どおり ☐ 計画前倒し ☐ 計画遅れ	・調布市中心市街地公共サイン整備計画（調布駅/第2期）に基づく公共サイン整備（案内サイン2基、誘導サイン3基） ・調布市中心市街地公共サイン整備計画（布田駅・国領駅編）に基づく公共サイン整備（布田駅周辺に誘導サイン1基） ・調布市公共サイン整備計画（京王多摩川駅）策定	☒ 現状継続 ☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 財政面改善 ☐ 参加と協働改善	・中心市街地公共サイン整備計画（調布駅/第2期）に基づく公共サインの整備（6基） ・調布市公共サイン整備計画（京王多摩川駅）に基づく公共サインの整備（12基）

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和7年度の実績及び令和8年度の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
・公共サインにおけるQRコードを使用した観光情報の掲載【令和7年度】	・調布市都市計画マスタープラン及び調布市ほっとするふるさとをはぐむ街づくり条例に基づき、住民発意・参加と協働のまちづくりを進めます。【令和7・8年度】 ・景観まちづくり市民検討会による活動の継続【令和7・8年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー